



**明けましておめでとう
ございます！**

本年もよろしくお願
い申し上げます。お正月は
おせち料理やお雑煮など
おいしいものを召し上が
る機会があり、あらためて食べる喜びを
感じられたのではないですか。
そこで今年第一回目の通信では、食べ
る喜びをいつまでも感じられるように、
昨年引き続き入れ歯について特集します。



入れ歯でQOLが向上！

入れ歯は食事が摂れるということだ
けでなく、転倒防止のほか、噛む事が脳
への刺激となり認知症の予防や意欲の向
上がみられるなど様々なメリットがあ
ります。また、寝たきりの方が入れ歯を
使用することで、立ち上がれるようにな
ったという報告もあり**QOL向上**に大
きく影響します。

しかし、ご高齢の方は入れ歯が全然合
っていない・最近使用しなくなった。ま
た、歯が抜けたままになっているとい
う方が大変多く見受け
られます。
そこで今回は入れ歯
の作製工程について
ご説明します。



入れ歯作製の工程

入れ歯の作製には①大まかな型どり
↓②精密な型どり↓③かみ合わせの調
整↓④試し入れ(試適) ↓⑤義歯完成
の5行程があります。そのあとは実際
に使用してもらい調整していく必要が
あります。

①大まかな型どり

図1既成のトレーを使用し上下の大
まかな型どりをします。図2左の口
腔内模型を使ってその人、専用の個
人トレー(図2右)を作製します。



図1 既成のトレー



図2 左は口腔内模型 右は個人トレー

②精密な型どり

個人トレーを使って、お口の中の精
密な型をとります。
その際、口腔内の
形だけでなく筋肉
の動きも採って
いきます。



図3

③かみ合わせの調整

図3に石膏を流しろうで咬合床(図4)
を作製します。咬合床を患者さんのお口
に入れて、かみ合わせの位置を決めそれ
をもとに咬合器に装着します。

ポイント
口腔内模型は設計図と同
じです。より正確な口腔
内を再現するため型と
りを2回行っていきます。



図4 ろうで作った咬合床



図5 咬合器に装着して人口歯を排列

④試し入れ(試適)

ろうで出来た仮の入れ歯を患者さん
のお口に入れてみて審美的な要件、かみ合
わせの要件等をチェックします。

⑤義歯完成

ろうでできた仮の入れ
歯をプラスチックに換
えて完成になります。



**※その後の調整が非常に
重要です！**